



薩摩のさつまブランド認証発表会

議会だより

さつま No.72

令和5年2月2日発行

条例、補正予算の概要	・・・P2～P3
常任委員会審査の概要	・・・P4～P5
一般質問（10人）	・・・P6～P14
決算特別委員会審査の概要	・・・P15
特別委員会報告	・・・P16
所管事務調査報告	・・・P17
議会活動	・・・P18

《さつまホームページ》
<https://www.satsuma-net.jp>

トップページの下の画面から
 議会情報をご覧いただけます。

さつま町議会



ここをクリック

令和4年度各会計12月補正予算額

会 計 名	補正額	補正後の予算総額
一般会計 (8号～11号)	3億1,407万円	169億9,966万円
特別会計 介護保険事業	23万円	37億3,588万円
特別会計 国民健康事業	30万円	30億8,569万円
上水道事業会計 (支出総額)	△140万円	4億2,403万円

※金額は千円単位を四捨五入

12月定例会

第4回(12月)定例会は、12月2日から23日までの22日間の会期で行われ、専決処分の承認1件、条例の制定3件、条例の一部改正3件、各会計の補正予算などを審議し、提案されたすべての議案を可決しました。

補正予算の概要

※金額は千円単位を四捨五入

畜産防疫対策事業

840万円

高病原性鳥インフルエンザ感染拡大防止対策として、需用費や人件費等が計上されています。



高病原性鳥インフルエンザ防疫作業（出水市内）

小学校共通管理費

1億3,666万円

(公共施設整備基金から5,000万円充当)
小学校の特別教室の空調整備に係る工事請負費等が計上されています。



イメージ写真（宮之城中学校音楽室）

物価高騰等対策事業費

2,644万円

コロナ禍において物価高騰や燃料高騰の影響を受ける医療機関や介護サービス事業所等に対する物価高騰等支援給付金です。



水道料金負担軽減事業費

2,558万円

物価高騰や燃料高騰等の影響による負担軽減支援として、水道基本料金の3ヶ月分を免除するための経費です。



教育・保育給付費

615万円

保育所等の職員が感染症対策を行いながら保育を継続的に実施していくために、必要な経費等への一部補助を行うものです。



おもちゃ等を消毒する保育教諭

ごみ処理管理費

145万円

安全確保の観点に基づき、ごみ収集作業人数の見直し等に伴う業務委託料の変更費用です。



生ごみ回収作業

どう変わった 我が町の条例

さつま町職員の給与
に関する条例の一部
改正について

人事院勧告に伴う若
年層職員の給与が改定
されること等により、
条例の一部を改正する
もの。

高卒初任給

4000円増

大卒初任給

3000円増

地方公務員法の一部
を改正する法律の施
行に伴う関係条例の
整備に関する条例の
制定について

国家公務員の定年が
段階的に引き上げられ
ることにより、地方公
務員の定年についても
60歳から65歳まで段階
的に引き上げられるこ
とから、関係の条例を
改正するもの。

その他の議決事項

庁舎内WEB会議用
端末等導入契約の締
結

本庁舎及び支所等の
出先機関において、来
庁された町民の方々が
WEB会議の環境で用
件を完結するため、W
EB会議用端末の導入
を行うものです。

■契約金額

1300万2000円

■契約の相手方

株式会社エム・エム

・シー

専決処分

1件の専決処分を
議会で承認

高病原性鳥インフル
エンザ感染防止対策に
要する経費を補正。

■8号補正

83万9000円増

修正動議

1件の修正動議を
否決

令和4年度一般会計
補正予算(第10号)に
対し、有川美子議員よ
り修正動議が提出され
ました。

今回提案された補正
予算は、作業安全確保
の観点から、積算作業
人数の見直し及び物価
高騰による燃料価格の
改定を含めた業務委託
料の変更です。

修正動議の内容は、
半年の業務履行で人件
費の見直しを行うのは
適当ではないとして、
物価高騰のみを反映さ
せた補正予算へと修正
を行うものです。

賛成・反対討論がな
され、採決の結果、修
正動議は否決されまし
た。

修正動議採決結果

●賛成議員(3人)

上別府ユキ
平八重光輝
有川美子

●反対議員(12人)

新改幸一
平山俊郎
上園一行
橋之口富雄
中村慎一
森山大
新改秀作
古田昌也
岸良光廣
上久保澄雄
川口憲男
柏木幸平

※修正動議が否決され
たため、当初執行部
から提出された補正
予算は、原案のおお
り可決されました。

どうなった！あなたの陳情

陳情1件を審査しました

審議未了

夫婦・親子同氏を維持し、旧姓
の通称使用の拡充を求める意見
書提出についての陳情

◎陳情者

宮路貞盛氏

◇議員の審査意見

・法律上で認められていない案件をさつま町
で判断が出来るのか。
・国の方針が全く決まっていない。また、民
法の改正がないまま、さつま町議会として意
見書を国に提出するのははばかられる。
・男女共同参画の観点からも、さつま町議会
として今後も注視しておかなければならない
課題ではある。

※審議未了：…会期内に議決され成立しなかつ
た議案。会期不継続の原則に従って継続審議
の議決が行われない限り、審議未了により廃
案となります。

委員会に付託された議案を全て可決

委員長 岸良光廣
副委員長 中村慎一
委員 平山俊郎
委員 上園一行
委員 森山 大
委員 新改秀作
委員 有川美子

総務厚生 常任委員会

委員会で付託された条例制定3件、令和4年度一般会計（関係分）及び特別会計の補正予算1件、陳情1件が審議されました。
委員会審査の中で出された主な質疑、意見などを掲載しています。



路線バス(さつま町～薩摩川内市間)

さつま町個人情報
保護審査会条例の
制定

問 審査会委員の構成メンバーはどのようになっているか

答 県内市町村の共同で審査会を設置し、弁護士や大学の教授、住民代表者などが構成員となっている。

令和4年度一般会計
補正予算（第10号）
関係分

問 若竹児童遊園地のトイレはアスベスト調査が必要なほど老朽化していたのか

答 昭和62年に建設されており、令和4年の台風で損壊した。また、築年数に関係なく建物を解体する際にはアスベスト調査は義務となっている。

問 本町と薩摩川内市を結ぶ路線バスが、国の地域公共交通確保維持改善事業の補助要件を満たさなかった理由は

答 国の補助要件が1日あたり15人から150人の乗車が必要であり、コロナ以降当該路線の乗車数が1日約10人であったことから国の補助要件を外れた。



改修を行う若竹公園トイレ

問 緊急通報体制整備事業の申込件数が増化している要因は

答 心疾患や転倒リスクの高い方の申請が増えている。

問 医療廃棄物処理袋はどのような時に使用するものか

答 発熱の有無にかかわらず、救急出勤時は感染防止衣等を着用するため、使用した感染防止衣等は医療用廃棄物処置袋に密閉し、産業廃棄物として処分しなければならない。

問 ごみ収集作業人数の見直しを行った時期は

答 4月から9月までの履行状況を事業者に確認し、当初の積算人数で作業可能か判断をしたところ、作業自体は当初の積算人数で可能と考える。しかし、ごみの分別が徹底されていない現状や交通事故もあり、作業時に危険を伴うことが想定されることから、原則2人1組での作業が適正であると判断し、10月以降の人員を見直した。

問 ごみ収集業務委託については、民間業者の事情や働き方改革等も考慮し業務内容の積算を行うべきではないか

答 積算にあたっては、十分に法令等を遵守しながら行わなければならないと考える。当初の入札についても十分考慮した上で執行している。



さつま町ゴミック誌

さつま町ゴミック誌をご覧ください、ごみの正しい分別・出し方にご協力ください。



ダウンロードはこちらから

委員会に付託された議案を全て可決

委員長 新改幸一
副委員長 上久保澄雄
委員 橋之口富雄
委員 上別府ユキ
委員 平八重光輝
委員 古田昌也
委員 川口憲男
委員 柏木幸平

さつま町営住宅等条例の一部改正

問 湯之元団地の経年劣化による用途廃止後の建物及び土地活用等は

答 住宅については解体の方向で検討しており、土地については普通財産に変更してから活用方法を検討していく。

指定管理者の指定にかかる議決事項の変更

問 町内の直売所における法人化の動きは

答 町内直売所のうち、出荷者等が組織している任意組合については、法人化の動きを想定しながら注視していきたい。

令和4年度一般会計補正予算(第10号)関係分

問 薩摩農産物加工センターでは、燃料価格高騰分として使用料を増額する考えはないか

答 現在のところ使用料の増額は考えていない。

問 かぐや姫グラウンド芝部分の整備内容は

答 来年度開催予定の国体に向けて施設の点検を行った結果、グラウンド内の陥没箇所を補修するもの。



国体会場となるかぐや姫グラウンド

問 佐志ニュータウンの売払い状況と温泉区画の販売促進対策は

答 現在、佐志ニュータウンは一般区画が2区画、温泉区画が2区画残っている。また、温泉区画は売却価格が高いため売払いに苦慮しているが、令和元年度から温泉を配湯しない一般区画としての購入を選択することができるとしている。

令和4年度さつま町上水道事業会計補正予算(第4号)

問 青芝野配水池を新たに築造する理由は

答 佐志水源池は取水量が計画量に迫っていることから、安定的な供給のために、水量に余裕のある地区から新設する配水池に貯留し、佐志地区の一部に給水する計画である。

令和5年第1回(3月)定例会は2月27日開会予定です。

3月定例会予定 議運…議会運営委員会、全協…全員協議会

日	月	火	水	木	金	土
2/19	2/20	2/21 議運	2/22 全協	2/23 天皇誕生日	2/24	2/25
2/26	2/27 本会議 (開会日)	2/28	3/1	2	3	4
5	6	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 常任委員会	10 常任委員会	11
12	13 常任委員会	14 常任委員会	15	16	17	18
19	20	21 春分の日	22 議運 全協	23	24 本会議 (開会日)	25

日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局(53-1111)にお問い合わせください。

○日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット(YouTube)で、本会議の中継を視聴することができます。



QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。

一般質問

町政を問う



一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねるものです。

単に疑問を解消し、事実関係を明らかにするだけではなく、現行政策の提言をする議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっており、12月定例会では10人の議員が一般質問を行います。

岸良 光廣 (7ページ)

- ・行政改革について

川口 憲男 (7ページ)

- ・農林業の活性化について

上圀 一行 (8ページ)

- ・安全で安心して暮らせるまちづくりについて
- ・人口減対策について

平山 俊郎 (9ページ)

- ・道路の交通安全対策について
- ・平川地区における異臭問題について

新改 秀作 (9ページ)

- ・本町出身画家の周知について
- ・ふるさと文化教育について

古田 昌也 (10ページ)

- ・ローカルブランディングについて
- ・災害復旧について
- ・あなたも1日議員について

森山 大 (11ページ)

- ・子どもを主体とした政策づくりについて
- ・子どもの自殺対策について

上別府 ユキ (12ページ)

- ・婦人科検診受診率向上について
- ・学校の樹木の管理について

中村 慎一 (13ページ)

- ・これまでの一般質問での回答に対する取組について
- ・町政振興の取組について

有川 美子 (14ページ)

- ・みどりの食糧システム戦略について
 - ・通学バスの安全管理と今後について
- 他2件

※一般質問に関する記事の掲載順番が一部、一般質問を行った順番とは異なっていますのでご注意ください。

一般質問1日目の動画配信

岸良 光廣
上圀 一行
平山 俊郎
川口 憲男
古田 昌也



一般質問2日目の動画配信

森山 大
上別府 ユキ
中村 慎一
有川 美子
新改 秀作



一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。



岸良 光廣 議員

消防団員

消防団の必要性は

町長／消防団は必要である

問

消防団員の処遇改善について次の四点を問う

- 一、消防団の車庫エアコン設置について
- 二、報酬・費用弁償について
- 三、訓練時間の制限による訓練不足について
- 四、火災保険に関する団員への説明は

答

消防団車庫のエアコン設置は予算計上を行い、令和5年度に全ての車庫に設置する。報酬は令和5年度の予算で必要に応じて増額も検討したい。訓練時間については、幹部会議で団員の意見を聞き対応を検討していきたい。火災保険については十分説明を行うよう指示をしたところである。



操法大会で優勝した柊野分団

人口減少の

スピードは

町長／

予想より早い減少

問

10年後はさつま町の人口が1万3千人を下回る可能性がある。町職員数、小学校の再編、給食センターなど早急な見直しが必要と考える。特に、今年度は新生児の出生数が70人を下回る可能性がある事が問題であると考えるが。

答

1年に500人から600人の人口減少である事は私も把握している。今後は人口減少に伴い、町としても今行っている事業の見直しを行い、廃止する事業、また新しく行う事業等の見極めを行い、対応していきたいと考えている。

森林行政

林業の活性化策は

町長／発展に努める



川口 憲男 議員

問

林業の活性化策をどのように捉えているか。森林面積が70.7%と豊富な山林に、更なる町独自の支援策を講じて、元気な地域づくり、農林業生産者への活性化策の考えは。特に里山の活性化に取り組む考えは。

答

林業活性化に施業集約や機械化によるコスト削減、担い手育成・確保など、森林所有者の意識改革等総合的な対策を図り、関係機関との連携を密に、情報共有や研鑽を重ね森林・林業の発展に努める。



間伐作業

多面的機能の

取組は

町長／

間伐や再造林を

促進

問

森林の多面的機能の維持・継続に対する取組をいかに捉え推進する考えか。森林は防災面や脱炭素社会の実現など、非常に重要な役割を担っている。森林の保全・水が果たす涵養林・CO₂削減など山への対策に取り組む考えは。

答

植林をすること、で、その後吸収するCO₂量を数値化し、炭素量に応じ森林所有者に交付金を交付する、「持続可能な森林づくり交付金」を今年度から実施し、間伐や再造林の促進に努める。

道路管理

町道作業員の増員を

町長／増員を含め検討



上岡 一行 議員

問

町道の法面の高い所の草刈り、また、付随した側溝に堆積した土砂の除去が困難になってきた。維持管理していく観点から、作業員を増やす考えはないか伺う。

答

募集に対し応募が少なく、今後は処遇改善や増員を含め検討していきたい。また、道路整備作業員による除草作業の効率化を図るため、建設機械に装着する油圧草払機を導入し、公民会の補助対象経費に建設機械の補助も加えるなど制度の見直しを検討したい。



導入を検討している装着油圧草払機

人口対策

人口減対策は

町長／出産準備応援給付金を

問

国の子育て支援策は妊娠届時に5万円、出産届時に5万円の合計10万円を母さんに支給となっている。さつま町も単独で子どもを産み育てるお母さんへ助成は考えられないか。

答

本町も令和4年度より妊娠8ヶ月を迎えられた妊婦の方に出産準備応援給付金を給付している。また、令和4年度から妊婦・家族を対象としたハローベビー家族教室で赤ちゃんの抱き方、沐浴、妊産婦の栄養指導を助産師と栄養士で支援している。



ハローベビー教室での沐浴指導

人口維持と

企業誘致は

町長／

6件を誘致

問

人口維持へ企業誘致とあるが、この問題も一朝一夕には出来ないと思う。町長に就任してからの企業誘致に係る件数と現在取り組んでいる案件があれば、差し支えのない範囲で答弁を求める。

答

企業誘致に係る立地協定を、就任してから現在までに6件締結、うち2件は県外からの新たな誘致企業である。この6件に係る設備投資予定額は53億9千万円、新規雇用者数は114人を見込んでいる。また、新規事業として社員用住宅の取得支援を行い、不足する住宅問題の解消と町外通勤者の定住促進を図る。



平山 俊郎 議員

交通安全

交通安全対策は

町長／復旧は幹線道路から

問

「交通安全対策」の一環である道路の白線が消失または摩耗しており危険であると聞く。町はこれらの実態を把握しているか。また、改善要望はこれまでどの程度改善されたか。県道、国道については町から改善要望はされないのか。

答

白線の復旧は通行量の多い幹線道路から実施している。実態把握は、道路パトロールや住民・公民会等からの通報や要望で把握している。そして、昨年度における公民会からの要望は14件中10件が改善されている。県道・国道については、認知の都度、関係機関へ要望を行っている。

環境問題

異臭問題対策は

町長／協定書遵守等を指導

問

平川地区では、数年前から牧場の糞尿によると思われる異臭問題で大変困っている。地域住民の苦情・要望により異臭場所へ立ち入り調査を実施しているが、その調査結果と指導はどのようなになっているか。

答

立ち入り調査の結果、悪臭の原因は糞尿を堆肥化するための攪拌機稼働中に発生することが判明。攪拌機の正常化と稼働時間の短縮等臭気低減対策等を指導した。今後、環境保全協定に基づく対応の遵守等を指導していく。

文化振興

町出身画家について

町長／広く町民に周知を図る



新改 秀作 議員

問

本町の宮之城屋地出身者で武蔵野美術大学を卒業し、日展で特選、入選を繰り返す、日展審査員・日展評議員となった日本画家がいる。地元での知名度はまだ低いが、作品の展示等を行い、町民に周知する考えはないか。

答

氏は昭和27年に宮之城屋地に生まれた東俊行氏で、既に亡くなられている。現在、本庁やひまわり館に作品が展示してあるが、相続者の意思も伺いながら、展示会の検討を行い、広く町民に周知できるように図っていききたい。

問

本町出身者にも文化面で活躍した人がいる。自分たちの町を知るうえからも「ふるさと文化教育（仮称）」と題して、学校等で取り上げ、子どもたちに学ぶ機会を与える考えはないか。

答

文化面で広く貢献された方々は、「さつま人物伝」にも掲載されているが、ホームページへの掲載や学習活動の中でタブレット活用等の検討もしていきたい。現在行っている「さつまカルタ」の中にも取り入れて、文化面の向上を図っていく。

文化教育

ふるさと文化教育を

教育長／

推進を図っていく



さつまカルタ

※その他の質問
作品管理と展示方法

災害復旧

豪雨災害からの復旧は

町長／最優先課題として認識



令和3年7月豪雨耕地災害(虎居地区)



古田 昌也 議員

問

令和3年7月豪雨災害の復旧、復興は計画通りに進んでいるのか。また進捗状況、発注率などはどの様になっているのか。

答

11月末現在、道路橋りょう河川が発注率9割、進捗率6割。林道施設が発注率8割、進捗率8割。農地・農業施設が発注率5割、進捗率3割。特に耕地災害においては稲等の耕作時期があることや河川工事等が優先されるため復旧が遅れている。

道路作業員の確保は

町長／増員・処遇改善を検討

問

道路における小規模災害や維持作業などは、道路整備作業員が対応しているが、慢性的な人員不足が見られる。そこで、作業員の増員、給料改善、効率化のための機械導入など具体的な方策を行う考えはないか。

答

道路整備作業員の処遇改善は、全庁的な調整のもと、現在の処遇となっていることを踏まえ、増員も含め処遇改善について検討する。また、人材確保が容易ではない現状から、建設機械の導入の検討も進め、愛護作業に対する共助の取組への支援も検討する。



議場内の当日の様子

1日議員

事前の検討・協議は

町長／来年度予算に一部計上

問

10月に開催されたあなたも1日議員の質問事項について、課内または課を超えた横断的な検討をしたのか。また質問をする子ども達を見てどのような感じたか。

答

あなたも1日議員では、小学生8名、中学生2名、一般1名の方が質問された。堂々と質問をする姿やまちの将来につながる意見にさつま町の明るい未来を感じるとともに、期待に応えられるまちづくりを進めなければいけないと感じた。今回の質問内容については、各課において既に取組を進めているものや、来年度実施に向けた検討を進めている。



質問に立った児童

※その他の質問
・ローカル
・ブランディングについて

婦人検診

婦人科検診受診状況は

町長／受診率は向上している



上別府 ユキ 議員



ピンクリボン月間の啓発

問

本町は女性特有の乳がん・子宮頸がんなどを早期発見するために婦人科検診受診率向上に向け、ワンコインがん検診などいろいろな対策を図り、3年計画で事業を進めている。その手応えはどうか。

答

受診率向上のため土・日曜日の受診、乳がん・子宮頸がん・骨粗しょう症の同時受診を可能にし、女性スタッフが対応するなど環境づくりに努めている。500円で受診できるワンコインがん検診などに取り組んだ効果があり、受診率は向上している。

女性職員の受診状況は

町長／受診しやすい環境整備を

問

令和2年、国の第5次男女共同参画基本計画の中で、婦人科検診を受診しやすい環境整備がうたわれているが、本町の女性職員の受診状況は把握できているか。また、国に婦人科項目の一般検診への追加を要請する考えはないか。

答

町の検診以外での受診や人間ドックなどでオプションとして検診している場合、個人情報保護の観点から受診状況把握は困難である。しかし、条例等に基づき、婦人科検診を受診しやすい環境整備を行っている。

問

8月に曾於市で発生した樹木の枝の落下による死亡事故を受けて、学校では樹木管理の安全対策をどのように行なったか。

答

町教育委員会で、は、同様の事故防止と学校環境の安全確保に万全を期すため、8月に学校と連携して巡回し、確認を行った。危険と判断された樹木は作業班による伐採を行った。

問

11月に樹木専門医がそれぞれの学校で診察を行われた結果を受け、今後の安全対策はどのような計画であるか。

答

老齢化・大木化が進行し重大な事故発生リスクの高い樹木は、11月に樹木医の点検を全小中学校を対象に行なった。危険度の高い樹木については、伐採および剪定作業を順次進めていく。子どもたちの安全のため、定期的な専門家の樹木点検を継続する。



学校で管理を行っている樹木(山崎小学校)

学校安全

学校の樹木管理は

教育長／安全点検を継続



中村 慎一 議員



交通弱者

再度、公共交通をただす

町長／次期計画で検討

問 高齢者の移動手段の実態も把握せずに政策展開は出来ない。車の運転に不安を抱えた高齢者や交通弱者が住みやすい町なのか問われている。交通事業者が破綻しないよう支援しながら、乗合タクシーの運行エリアを超えて利用できる公共交通制度の見直しを図れ。

答 エリアを超えた運行は乗合タクシー事業の経営圧迫から事業運営に影響が大きい。5年目に当たり次期計画を策定するのでより良い運行を検討したい。

問 ケアマネやヘルパー派遣の在宅介護サービス事業所の廃業が相次ぐ。人材確保や厳しい経営環境への支援等、2025年問題への対応は喫緊の課題だ。介護サービスは民間事業所が公会計で行う公共サービス。町全体の問題として捉えて、一般会計で支援しながら問題の解決を図れ。

2025年問題は

町長／必要な対策を講じる

答 問題は人材不足だ。シルバーや支援合いネットワークの活用、地域ボランティアグループの立上げを進めたい。処遇改善策等、必要な対策を事業所等と協議し必要なものは取り組んでいきたい。

農福連携の集落支援を

町長／運営支援を検討する

問 再度、集落支援の方向付けについてた。高年齢者の生活支援は幾つかの活動組織以外に広まらない現状だ。集落協定の第5期「集落支援の取組加算」は実質導入できない。周辺部には疲弊している地域が多い。地域が良くなれば町全体に活力が出ると思うがどうか。

答 国の集落協定第5期加算対策の高年齢者サロンや見回り送迎、買い物支援等、集落機能強化加算制度は、加算金の一部利用を要望しており、現行制度の交付金を活用して欲しい。また地域ボランティアの活動が増えるよう運営支援の検討を指示した。

景観行政

綺麗な道を町の文化に

町長／町民上げて進めたい

問 あなたも1日議員のなかで、「草が伸びた歩きにくい道路は誰に言えればいいのかな」という子どもの素朴な質問に答えられない。国県町道を問わず、景観行政団体（平成18年）の町の文化としてSDGs宣言の中に方針を定め、美しい自然に満ち満ちた地域づくりを進め町のファンを増やし移住定住に繋げよ。

答 道路管理者としては地元要望に答えられていないのが現状だ。作業班の体制整備を図り、地域活動を支援しながら協働の取組に努めたい。SDGsの取組にうたいこみ町民あげて進めたい。

※その他の質問
・SDGs・ゼロカーボンの取組について



道路維持作業を行う作業班

農業経済

有機農業の現状は

町長／農家支援に取り組む



有川 美子 議員

問

令和3年5月に農林水産省が策定した「みどりの食料システム戦略」について、本町の考えを問う。本町の有機農業の現状はどうか。また、この国策をどのように捉えているのか。本町でも今後取り組む考えはないか。

答

本町では、さつま町環境保全型農業者グループが交付金事業に取り組み、他の有機JAS認証取得農家と合わせ、耕地面積は約25haだ。この戦略は、農林水産業の生産性の向上と持続性の両立を実現するための支援策と捉えている。今後は、堆肥等の有機質肥料の施肥や減農薬栽培等を手始めに、制度への加入促進や栽培技術指導等の農家支援に取り組みたい。

問

求名地区で中学校通学バスが遅れてきたのみならず、運転手が乗降ドアの開閉ができず、通りがかった保護者が急遽生徒を学校へ送るトラブルが発生。

答

新しくリースしたバスの操作に不慣れで、安全装置がはたらき開閉ができなかった。

一、トラブル発生後、運転手から教育委員会へ連絡が入り、学校へ即座に状況を報告。

二、運転手はシルバー人材センターへ委託。町でも運転手を対象に研修会を随時実施。

三、スクールバス化やバスの小型化等、関係課や公共交通事業所等と協議を重ねている。



送迎を行う通学バス

安全管理

通学バス運行を安全に

教育長／

緊急時の連携を再確認

在宅介護

受領委任払いの状況は

町長／

令和5年4月から実施

問

本年3月定例会の一般質問にて、在宅介護における住宅改修等の費用助成について質問した。その回答は、償還払いのほか、受領委任払いを選択できるように準備を進めていきたいとのことであった。進捗状況は。

答

令和3年度介護保険事務調査（国調査分）によると、県内では住宅改修で24市町村、福祉用具購入費で17市町村が「受領委任払い」方式を採用しており、両方共に採用している市町村は、17市町村である。本町では住宅改修と福祉用具購入費の両方で「受領委任払い」方式の導入を検討中で、令和5年4月からの実施に向け、準備を進めている。



住宅改修で設置された手すり

※その他の質問
・高齢者の健康増進における支援者育成について

令和3年度の決算を問う!!

私たちの貴重な税金は

目的どおり使われたか？ 無駄づかいはなかったか？ その効果を問う！

決算特別委員会は、令和4年9月定例会で上程された令和3年度の決算議案について、その認定審査のために令和4年9月22日に設置され、8人の委員で構成されました。

令和4年12月2日にすべての決算議案が認定・可決されました。

委員長…平八重光輝
副委員長…橋之口富雄
委員…新改幸一
平山俊郎
森山大
新改秀作
岸良光廣
上久保澄雄

上程された決算議案

・令和3年度さつま町歳入歳出決算の認定について

・令和3年度さつま町水道事業会計決算の認定について

・令和3年度さつま町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

◆決算特別委員会の主な審査内容

問 消防団員に係る旅費の不用額を団員への処遇改善に充てられるように運用方法を見直す考えはないか

答 消防団員の負担軽減を考慮し処遇改善に努めたい。

この回答を受けて、消防団員の意見も十分聞き、団員がより活動しやすいような体制を取るように要請しました。

問 税金等の滞納処分について、コロナ禍の感染予防のため公売会を中止しているが、差押えを行った54件はどのように処理したのか

答 今回行った差押えは預貯金や給与などであるため、公売会を開催せずに換価している。

問 空き家情報バンクの地域別の契約状況は

答 これまでの空き家情報バンクの契約件数75件のうち、中心部は20件、中間部は23件、周辺部は32件であり、中心部の人気は高いが、周辺部を好む方も多くいる。



薩摩中央高校

問 高校振興対策として協議会だよりの配布、各種補助金の交付などに取り組んでいるが、学科等の見直しなど根本的な検討を行う考えはないか

答 学科の再編については、その影響について総合的に判断したうえで、県と協議していきたい。また、高校生や中学生、その保護者に対しアンケート調査を計画しており、学科に対する生徒の意向についても調査していきたい。



建設・改修の協議が続く
宮之城文化センター

問 文化施設建設検討委員会は、宮之城文化センターの整備についてどのような検討を行ってきたのか

答 宮之城文化センターについては、建設ありきではなく改修も含めて検討を重ねているところであり、先進地研修も参考にしながら検討委員会で方向性を示したい。

この回答を受けて、毎年多額の修繕費を要しているため、1年でも早く方向性が示せるよう、スピード感を持って協議していくことを要請しました。

特別委員会を継続開催

町長が行う行財政改革の調査や、議会全体の活性化を図るため、特別委員会を設置し、特定の項目について専門的に議論を行います。

行財政改革調査 特別委員会

行財政運営の健全化及び行財政改革の推進等の取り組みについて調査を行う特別委員会で、議長を除く全議員で構成されます。

令和4年は、これまでに8回の委員会と7回のタブレット検討部会を開催しました。

今年度は主にタブレット端末の導入によるペーパーレス化をテーマに協議を行いました。委員会・部会では、ペーパーレス会議システムの操作デモ研修やタブレットの導入に係る使用規定の制定などについて協議を行い、令和5年9月議会からのタブレット端末導入を目標に進めています。

議会活性化調査 特別委員会

議会の活性化及び議員定数・議員報酬について調査を行う特別委員会で、議長を除く全議員で構成されます。

令和4年はこれまでに11回の委員会を開催しました。

令和4年7月に区公民館長との意見交換会、8月に町民アンケート、11月に参考人（地域代表者や有識者等）から意見聴取を行いました。今後は、これらの内容を踏まえ、議員定数や議員報酬の見直しを行っていきます。

参考人意見聴取で出された主な意見

○議員定数

- ・町の人口も減少している中で、それにあわせて議員定数の見直しも必要ではないかと思う。
- ・地域の意見を議会に

反映させるためにも、現定員数は妥当ではないかと考える。

- ・地区ごとの定数を設けるべきだと考える。

○議員報酬

- ・現在の報酬では家族を養うことは難しい。
- ・議員定数を減らし、その分の報酬を分配し報酬を増額しては。
- ・議員報酬は現状の金額を維持すべきである。

○その他

- ・議員のなり手不足にならないためにも、立候補しやすい環境づくりを。
- ・議員の方から町民に歩み寄ったり、声掛けしたりして欲しい。
- ・調査研究を行うためにも政務活動費の検討が必要ではないか。

他にも多くの意見が寄せられましたが、紙面の都合上一部を抜粋して掲載しています。

懲罰特別委員会

懲罰特別委員会は、

令和4年12月7日に開催された総務厚生常任委員会において、有川美子議員が岸良光廣議員から侮辱を受けたと12月9日に処分要求書が提出されたことにより、12月14日に設置されました。

処分要求書の内容は、総務厚生常任委員長である岸良光廣議員から質疑を遮られたことで、議員活動の中心となる発言権を行使できなかったことが侮辱行為にあたるとするものであります。

委員長… 柏木幸平
副委員長… 中村慎一
委員… 新改幸一
上園一行
上別府ユキ
森山大
新改秀作
平八重光輝

懲罰特別委員会で十分な議論を重ね、岸良光廣議員への処分のは非及びその内容について採決した結果、全会一致で「公開の議場における陳謝」とすることに決定しました。

定例会第6日目に起立採決を行い、起立全員で「陳謝」の懲罰を科すことが可決され、議決に基づき岸良光廣議員は議場にて陳謝文の朗読を行いました。

総務厚生常任委員会

所管事務調査

令和4年11月9日から11月11日の日程で、総務厚生常任委員会の所管事務調査が行われました。

●視察先

兵庫県三田市

●内容

さんだ里山スマートシティ構想・三田市ICT推進計画

三田市では、デジタルを活用させ、行なうてもよい市役所の実現を目指し、外出困難者へのサービス向上、窓口での待ち時間の負担軽減、24時間対応など、市民ニーズが高いものを優先して、利便性の向上と見直しを図っています。また、市役所内組織のデジタル推進体制を整備、システムの操作研修などに取り組んでいます。

●視察先

兵庫県養父市

●内容

健康増進の取組

養父市では、合併時から住民の健康づくりを推進し、健康体操の普及・啓発に力を入れ、シルバー人材センターと連携して、自治会を対象に専門職を中心にした巡回型介護予防教室を実施しています。健康体操では、やぶからぼう体操を中心に、4種の体操に取り組み、体操指導者の養成も行っています。

●視察先

岡山県西栗倉村

●内容

ローカルベンチャー

西栗倉村では、豊富な森林資源を活用した

起業や移住定住に取り組んでいます。林業に注目すると、森林管理費用を役場が負担するが、村の産業や雇用、住民の林業所得や地域経済として転換し、還元が行われる仕組みができています。ローカルベンチャーとしては、16年間で46事業体、52の事業に311人の雇用が生まれ、多種多様なローカルベンチャーが誕生しています。

今回の調査を通して、いずれの自治体も従来の考え方にとらわれず、柔軟な発想・アイデアを積極的に取り入れていました。また、1つの事業であつても行政だけでなく、民間業者等多角的な視点から調査・研究されており、改めて官民の連携が必要であると感じたところです。

文教経済常任委員会

所管事務調査

令和4年10月28日から10月29日の日程で、文教経済常任委員会の所管事務調査が行われました。

●視察先

佐賀県有田町

●内容

移住定住への取組

有田町では移住定住への取組で、NPO法人灯す屋と連携し、空き家物件についての情報発信、見学ツアー、相談対応などきめ細かな対応を行っています。

灯す屋は、アトリエ付きのシェアハウスづくり、ものづくりをしながら暮らせる空き家活用を行っています。また、伝統的建築物群保存地区に存在する複数の空き店舗を活用し、出店希望者と空き店舗オーナーを繋げる取組や、陶器市などのイベントを活用した空き店舗の短期貸しを行っているっており、これらを通

して徐々に信頼関係を構築し、年間貸しをすることで空き店舗の解消や若者の移住定住に繋げていきたいとのこととあります。

くなり、喜ばれています。また、ペット用ジャーキーの製造販売では、食用に適しにくい部位をペット用に改良して販売しているほか、猪丸焼きイベントの開催、専門業者を通じた革製品の製造販売、堆肥生産組合へ動物性残渣を提供して有効活用を図るなど事業展開を行っています。

●視察先

福岡県糸島市

●内容

有害鳥獣対策

糸島ジビエ工房では、年間を通して約1000頭の獣肉処理が可能であり、1時間以内の持ち込みなどを条件に、1日10頭を限度として受入れをしています。また、安定的な個体確保のため、糸島市を中心とした近隣の市町村からの搬入にも対応し、1キログラム100円で購入することで猟師は埋設処理の手間がな

今回の調査で両市町に共通して言えることは、まずはチャレンジしてみろという強い姿勢のもと、民間法人の視点や発想により多岐に渡る事業展開がなされているところです。それぞれの強みを最大限に活用し、行政だけでは成し得ない事業運営に取り組みでありますが、行政側の理解と強い支援体制のもと連携した取組が必要だと感じたところです。

議 会 活 動



川内宮之城道路建設促進期成会 (12月22日)



参考人意見聴取 (11月24日)
※記事を16ページに掲載しています。



《表紙紹介》

令和5年1月23日に薩摩のさつまブランドの認証発表会が開催されました。これまでに23事業所の33商品が認定されています。



町村議会議員研修会 (1月12日)
演題「日本経済の展望」
「アナウンサーが教えるコミュニケーション説得の極意」

故 東 俊行氏の略歴

昭和27年 旧宮之城町屋地地区に生まれる
昭和46年 県立宮之城高等学校卒業
昭和50年 武蔵野美術大学日本画科卒業
平成 6年 日展会員
平成10年 日展審査員(その後も審査員を歴任)
平成20年 日展評議員
令和 4年 死去

主な作品 「渦潮龍図」、「天空龍図」 他多数

※関連する一般質問を9ページに掲載しています。



「風の音」 東 俊行 作
(さつま町役場本庁に展示中)

編集後記

まだまだ寒さが厳しいですが、このところ日が長くなったように思えます。さて、広報委員会の中で議論になるのが掲載内容、この部分は大きく取り上げた方がよいのでは？など様々な意見が飛び交います。

一般質問の内容は各議員の提出で出来ており、議員が掲載したい内容を忠実に掲載することに気を付けております。また、アンケートや調査報告などは、印象操作にならないように議論を重ね慎重に掲載しております。編集の難しさ、語彙力の無さを感じながら一生懸命、「議会だより」を作っておりますので、隅々までお読みいただければ幸いです。

最後に、2023年が皆様にとって明るく希望に溢れる1年となりますように。本年も宜しくお願い致します。

(古田)

議会広報特別委員会

委員長 上久保 澄雄
副委員長 有川 美子
委員 中村 慎一
委員 古田 昌也